

# ピアサポート グループの 活動に関する 調査報告書

**COMHBO**

特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構（コンボ）  
〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F  
Tel 047-320-3870 / Fax 047-320-3871 / URL [comhbo.net](http://comhbo.net)

## 背景と目的

精神障がいを持つ人のピアサポートグループの運営状況や課題は、これまで十分に知られていなかった。その活動状況を把握し、より効果的な情報共有のあり方やグループ運営の方法などを検討する基盤づくりを目的として、特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構（コンボ）が、全国の当事者活動参加者を対象としてアンケート調査を実施した。なお、本調査で使用する「ピアサポートグループ」という言葉は、精神障がいを持つ人が主体的に立ち上げ、グループ名があり、代表者（共同代表・世話人などを含む）がいるグループのことを指す。

## 方法

調査票はA票とB票の2種類用意され、A票はデータベース化を目的とする項目群で、回答者の希望によりウェブサイトで情報を公開した。B票は、ピアサポートグループの実態を把握するための質問群から構成された。

それぞれの調査票を用いて、郵送自記式調査とウェブフォーム調査を併用し（紙とウェブで内容は同じ）、当事者活動関係者を対象としてアンケートを行った。

本報告書では、A票とB票両方の質問項目の中から、ピアサポートグループの実態を明らかにする上で有用と思われる質問を選び、その単純集計の結果を記す。

調査の時期は2013年1月から3月であった。

調査依頼状には「当事者活動の情報をより多く収集し、情報の共有化を図るために、皆さま方には、このアンケートにご回答頂くとともに、ご存知のピアサポートグループにこの調査票をコピーして配布いただいたり、メールでの転送をお願いできると幸いです。」と記し、広く回答者を募った。

## 結果

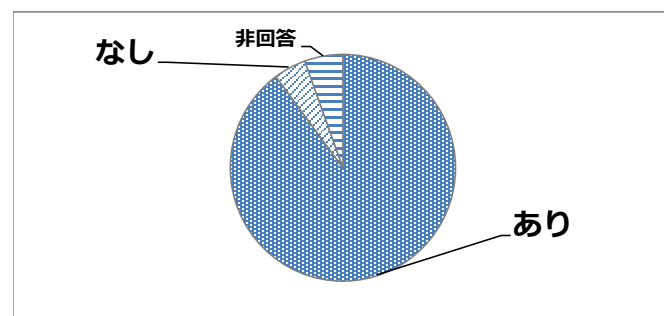
回答数は、A票の郵送調査が195、ウェブ調査が43の合計238票であった。B票に関しては、郵送が195、ウェブ調査が32の合計227票であった。なお、ウェブ調査では、全ページに回答があり、かつ調査票の最後の送信ボタンが押された回答のみを対象とし、同一IPアドレスから同一日に複数の回答が行われ、内容の多くが重複している回答については、後の回答のみを有効回答して扱った。

## A票

会の概況について

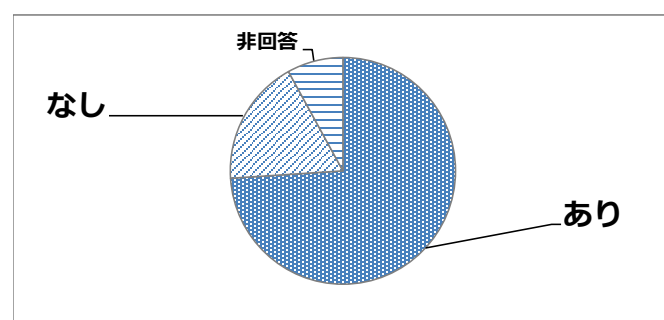
会（グループ）の名称はありますか。

	n	%
あり	214	89.9%
なし	11	4.6%
非回答	13	5.5%
合計	238	100.0%



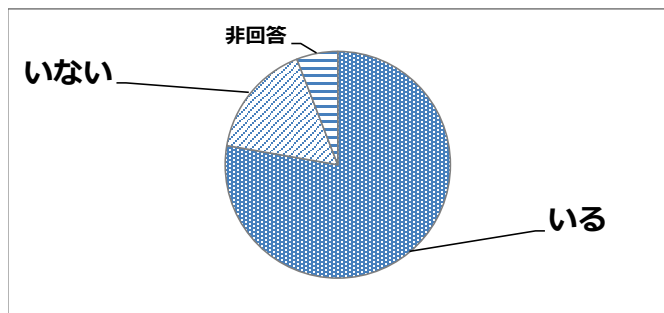
対外的な連絡先（入会窓口や他の会との連絡窓口として）はありますか。

	n	%
あり	176	73.9%
なし	43	18.1%
非回答	19	8.0%
合計	238	100.0%



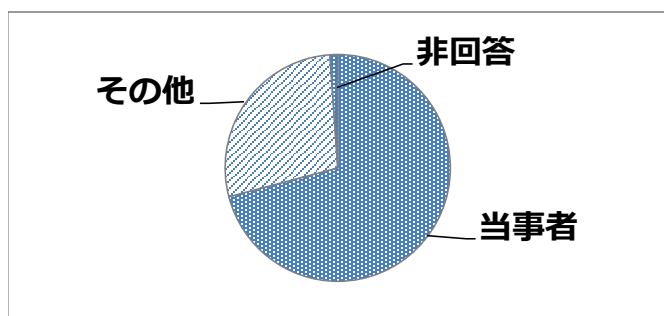
あなたの会に代表者はいますか。

	n	%
いる	185	77.7%
いない	39	16.4%
非回答	14	5.9%
合計	238	100.0%



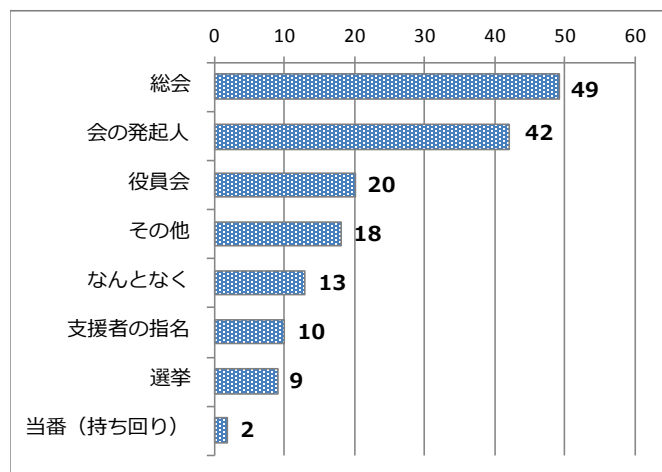
代表者は当事者ですか。

	n	%
当事者	129	69.7%
その他	51	27.6%
非回答	2	1.1%
合計	185	100.0%



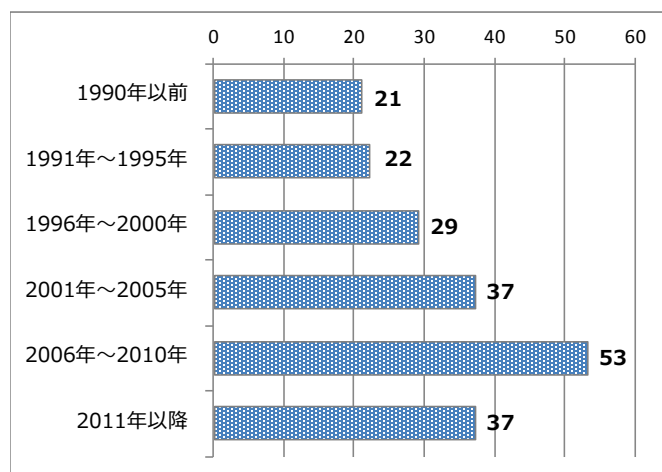
代表者の選び方

	n	%
総会	49	20.6%
会の発起人	42	17.6%
役員会	20	8.4%
その他	18	7.6%
なんとなく	13	5.5%
支援者の指名	10	4.2%
選挙	9	3.8%
当番（持ち回り）	2	0.8%
非回答	75	31.5%
合計	238	100.0%



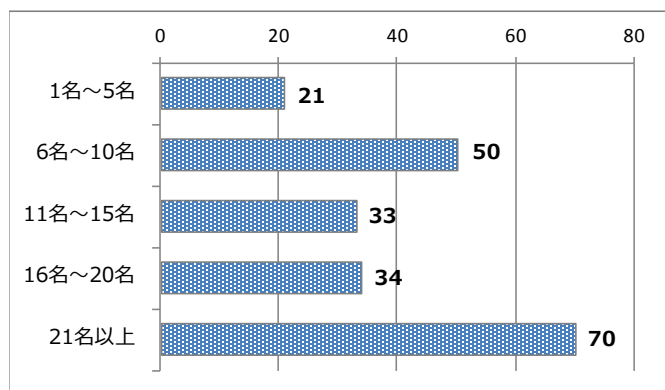
いつから会として活動を始めましたか？

	n	%
1990年以前	21	8.8%
1991年～1995年	22	9.2%
1996年～2000年	29	12.2%
2001年～2005年	37	15.5%
2006年～2010年	53	22.3%
2011年以降	37	15.5%
非回答	39	16.4%
合計	238	100.0%



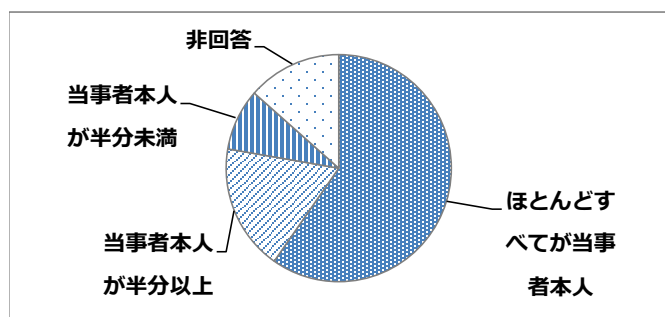
会員数はどの程度ですか。

	n	%
1名～5名	21	8.8%
6名～10名	50	21.0%
11名～15名	33	13.9%
16名～20名	34	14.3%
21名以上	70	29.4%
非回答	30	12.6%
合計	238	100.0%



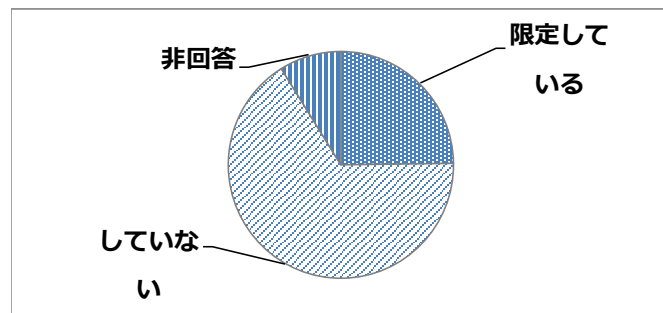
そのうち当事者の割合を教えてください。

	n	%
ほとんどすべてが当事者本人	142	59.7%
当事者本人が半分以上	43	18.1%
当事者本人が半分未満	21	8.8%
非回答	32	13.4%
総計	238	100.0%



障害（疾患名）に限定して入会者を募っていますか。

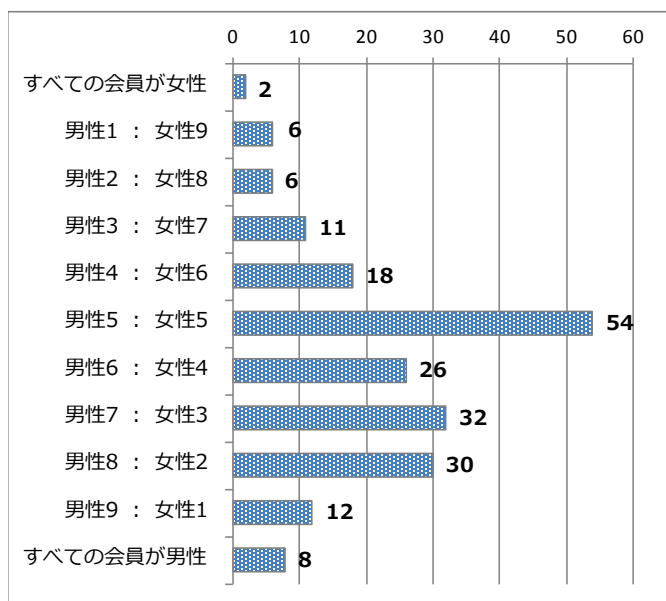
	n	%
限定している	59	24.8%
していない	158	66.4%
非回答	21	8.8%
総計	238	100.0%



限定している場合の内容については、「精神障がい」が多く、他に「高次脳機能障がい」「身体、知的、精神障がい」「アルコール依存症」「統合失調症」「躁鬱病」「強迫性障害」「うつ病」などの回答が挙げられた。

男女の割合を教えてください。

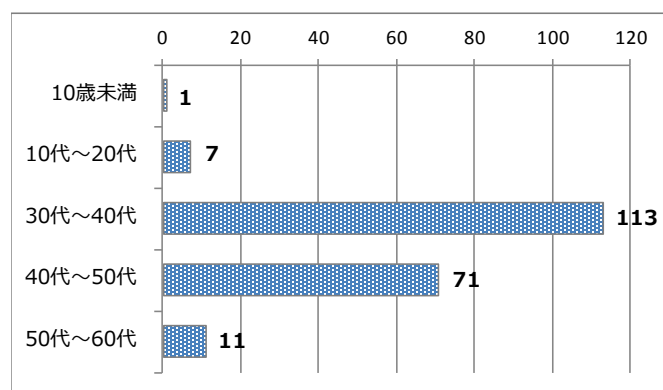
	n	%
すべての会員が女性	2	0.8%
男性1 : 女性9	6	2.5%
男性2 : 女性8	6	2.5%
男性3 : 女性7	11	4.6%
男性4 : 女性6	18	7.6%
男性5 : 女性5	54	22.7%
男性6 : 女性4	26	10.9%
男性7 : 女性3	32	13.4%
男性8 : 女性2	30	12.6%
男性9 : 女性1	12	5.0%
すべての会員が男性	8	3.4%
非回答	30	12.6%
合計	238	100.0%



会員の年齢のうち、もっとも多い年代を3番目まで多い順に順位を付けてご回答ください

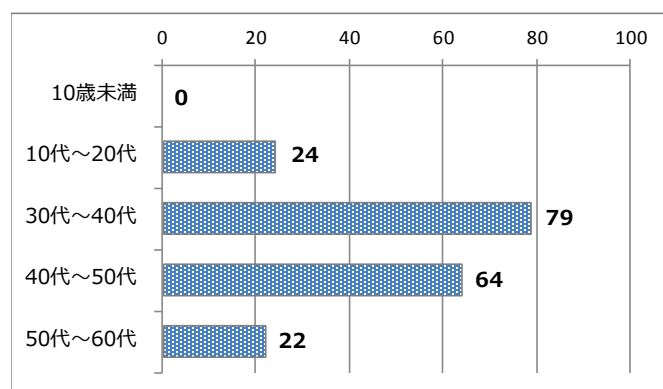
第一位

	n	%
10歳未満	1	0.4%
10代~20代	7	2.9%
30代~40代	113	47.5%
40代~50代	71	29.8%
50代~60代	11	4.6%
非回答	35	14.7%
合計	238	100.0%



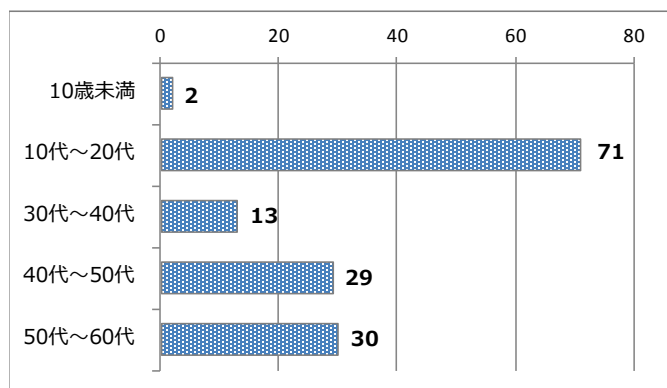
第二位

	n	%
10歳未満	0	0.0%
10代~20代	24	10.1%
30代~40代	79	33.2%
40代~50代	64	26.9%
50代~60代	22	9.2%
非回答	49	20.6%
合計	238	100.0%



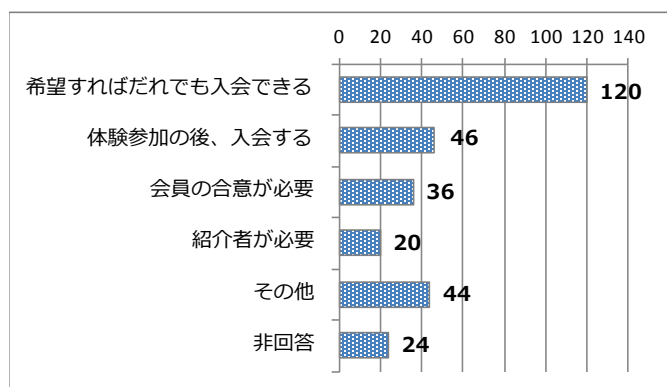
第三位

	n	%
10歳未満	2	0.8%
10代~20代	71	29.8%
30代~40代	13	5.5%
40代~50代	29	12.2%
50代~60代	30	12.6%
非回答	93	39.1%
合計	238	100.0%



貴会に入会するためにはどのような手続きが必要ですか。

	n	%
希望すればだれでも入会できる	120	50.4%
体験参加の後、入会する	46	19.3%
会員の合意が必要	36	15.1%
紹介者が必要	20	8.4%
その他	44	18.5%
非回答	24	10.1%
合計	290	121.8%

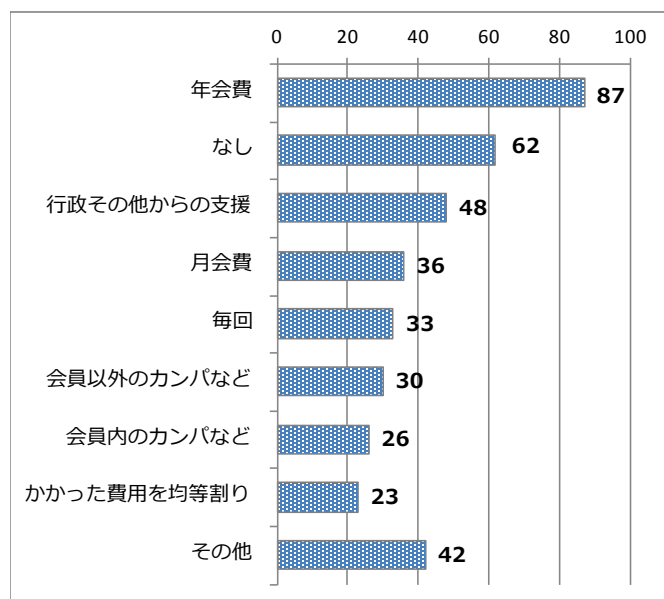


その他の内容としては、「特定の学習会を修了した者」「施設に利用登録が必要」「会則に同意出来る希望者」「就労に興味がある方(障害者雇用に)」「利用者のみ」

「複数の会員が合意すれば可。」「面接採用、主治医意見書」などの回答が挙げられていた。

会費（運営費）について教えてください

	n	%
年会費	87	36.6%
なし	62	26.1%
行政その他からの支援	48	20.2%
月会費	36	15.1%
毎回	33	13.9%
会員以外のカンパなど	30	12.6%
会員内のカンパなど	26	10.9%
かかった費用を均等割り	23	9.7%
その他	42	17.6%
非回答	30	12.6%
合計	330	138.7%

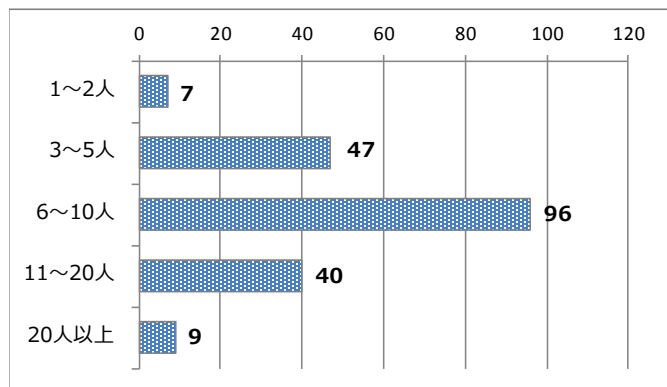


また、年会費の平均は 1964.4 円、月会費の平均は 302.8 円、毎回会費の場合の平均会費は 171.2 円であった。

会の例会について

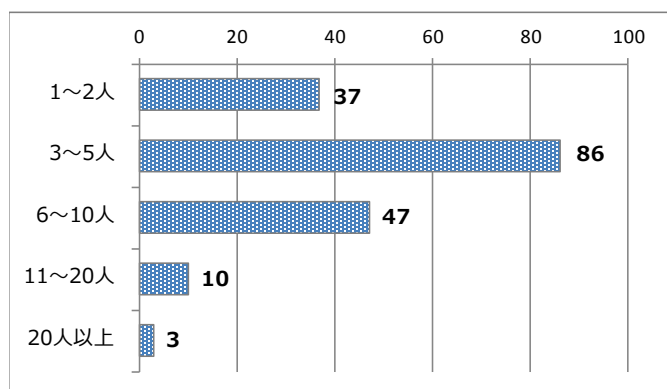
例会の1回の参加者数は平均で何人ですか。

	n	%
1~2人	7	2.9%
3~5人	47	19.7%
6~10人	96	40.3%
11~20人	40	16.8%
20人以上	9	3.8%
非回答	39	16.4%
合計	238	100.0%



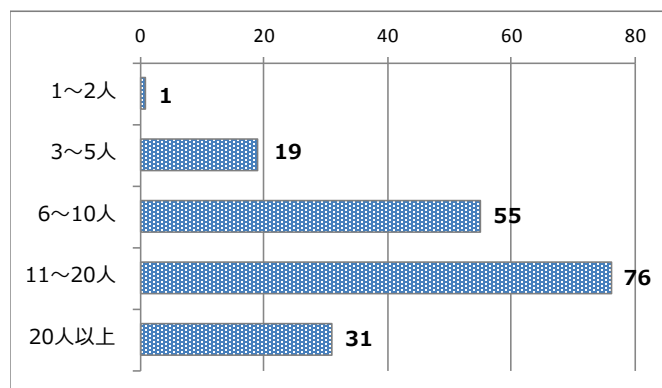
例会の1回の参加者数は少ない時で何人ですか。

	n	%
1~2人	37	15.5%
3~5人	86	36.1%
6~10人	47	19.7%
11~20人	10	4.2%
20人以上	3	1.3%
非回答	55	23.1%
合計	238	100.0%



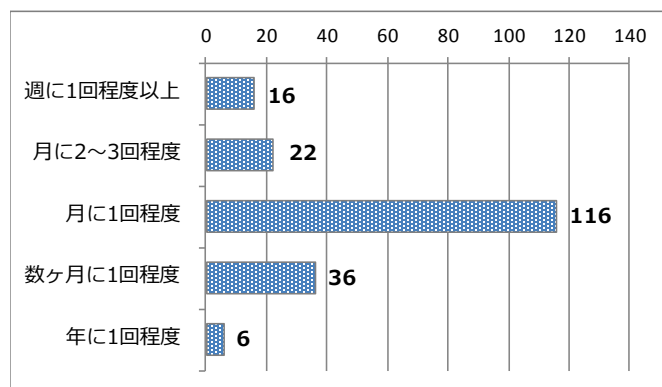
例会の1回の参加者数は多い時で何人ですか。

	n	%
1~2人	1	0.4%
3~5人	19	8.0%
6~10人	55	23.1%
11~20人	76	31.9%
20人以上	31	13.0%
非回答	56	23.5%
合計	238	100.0%



例会の開催頻度を教えてください。

	n	%
週に1回程度以上	16	6.7%
月に2~3回程度	22	9.2%
月に1回程度	116	48.7%
数ヶ月に1回程度	36	15.1%
年に1回程度	6	2.5%
非回答	42	17.6%
合計	238	100.0%

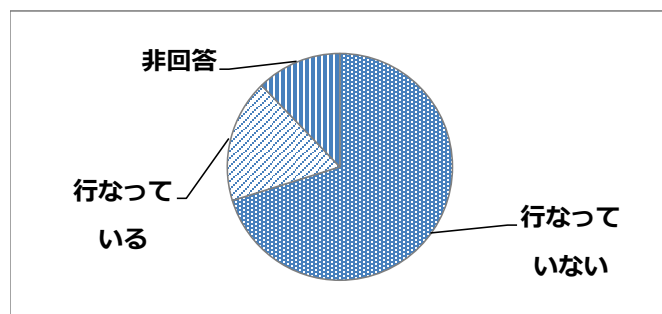


例会の内容については、「話し合い」「レクリエーション」が多かった。以下にいくつかの回答を引用する。

- 食事作り、花見、忘年会、新年会、研修
- 意見交換、勉強会
- 暑気払い、カラオケ会、納涼祭、クリスマス会兼忘年会
- ピアカウンセリング。講演会のふりかえり。助成金、会計について。新規会員の入会。ルールづくり。イベントの企画などの話し合い。
- 3分間スピーチ、意見交換、情報交換、勉強会、レク活動 etc
- 行事や活動についての話し合い
- 話し合い(近況報告、病気に関する雑談等)
- 話し合い(行事や作業上の問題点など)
- 草取り、話し合い、バーベキュー 絵手紙 わらい ヨガ
- 事業内容についての協議が主である。
- 精神科医との話し合い
- 事業計画、事業予算について/事業報告、決算報告 + 社会参加促進事業の計画など 家族会に支援をお願いしています
- 勉強会、リクレーション (食事研修、合唱等)
- 話し合い(ピアカウンセリング)
- 気分調べ、話し合い、勉強会、レクリエーション
- 食事会、旅行、勉強会 他施設との交流会
- カラオケ等のレクリエーションをしています
- 話し合い、勉強会、レクリエーション、会報の発行について
- 1人150円又は100円と米1合を出し合って自分達で料理を作って皆で一緒に食べる
- 話し合い、相談、講師活動の振り返り
- べてるの家の当事者研究
- 言っぱなし聞きっぱなしのオープンミーティング
- こころの元気+輪読、元気プラスサークルズの進め方に従う
- WRAP というプログラムを元にそれぞれが生活の工夫を持ち寄りそれを日常生活に生かす事で元気回復を目指しより豊かな人生を送るサポートし合う。

あなたの会でおこなっている収益事業を教えてください。(例：コンサート、書籍販売)

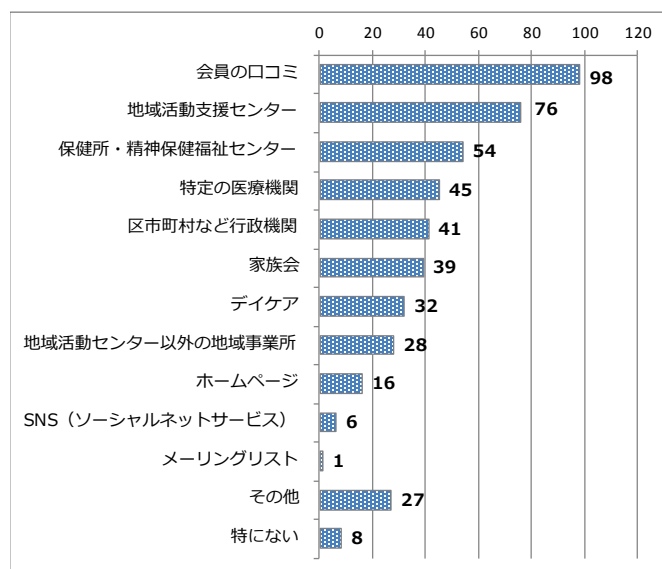
	n	%
行なっていない	167	70.2%
行なっている	42	17.6%
非回答	29	12.2%
総計	238	100.0%



## B 票

会員が参加するきっかけ (紹介機関など) として多いのは次のうちどれですか。

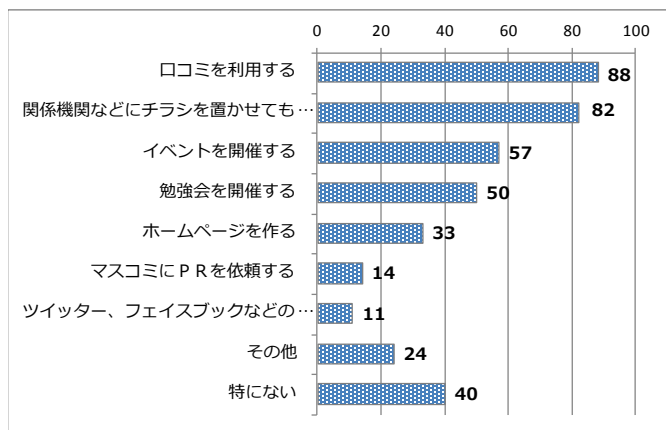
	n	%
会員の口コミ	98	43.2%
地域活動支援センター	76	33.5%
保健所・精神保健福祉センター	54	23.8%
特定の医療機関	45	19.8%
区市町村など行政機関	41	18.1%
家族会	39	17.2%
デイケア	32	14.1%
地域活動センター以外の地域事業所	28	12.3%
ホームページ	16	7.0%
SNS (ソーシャルネットサービス)	6	2.6%
メーリングリスト	1	0.4%
その他	27	11.9%
特になし	8	3.5%
非回答	29	12.8%
合計	326	143.6%





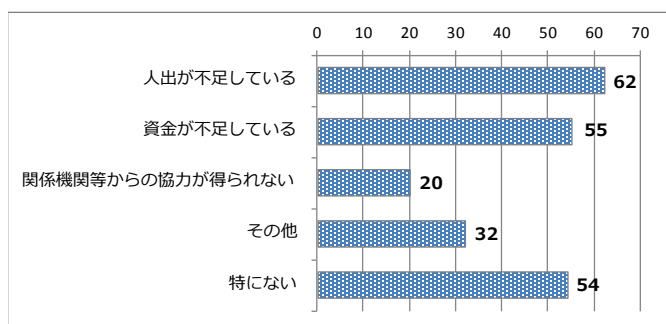
会員の勧誘（仲間を増やすこと）について工夫していることがあれば教えてください。

	n	%
口コミを利用する	88	38.8%
関係機関などにチラシを置かせてもらう	82	36.1%
イベントを開催する	57	25.1%
勉強会を開催する	50	22.0%
ホームページを作る	33	14.5%
マスコミにPRを依頼する	14	6.2%
ツイッター、フェイスブックなどのSNS	11	4.8%
その他	24	10.6%
特になし	40	17.6%
非回答	29	12.8%
合計	428	188.5%



会員の勧誘（仲間を増やすこと）について困難なことがあればお聞かせください。

	n	%
人出が不足している	62	27.3%
資金が不足している	55	24.2%
関係機関等からの協力が得られない	20	8.8%
その他	32	14.1%
特になし	54	23.8%
非回答	29	12.8%
合計	252	111.0%



今後新しく始めたい活動に関しては、下記のような回答があった。

- 今後新しく始めたいことに関しては、
- 料理教室。資格取得。

- 製造業。
- ホームページの作成
- 佐賀市内の方がメインのグループなので佐賀市以外の方から、他に支部を作ってほしいという希望がある。
- SNSを活用した情報発信。
- 食事会
- 会員の仲を深め、当事者会のPRに力を入れていきたい。
- 喫茶店開店
- 社会に対応できない人を集めた集会所のような場所を作りたい。
- 我々の今の重要課題は「ひきこもり」「自殺」と思う。我々の活動がそこにどう切り込めるか、考えている。引きこもりと自殺の支援団体にアクセスしようと考えている。
- 行政への働きかけ
- 新入会員を増やす事。啓発活動。
- WRAP ファシリテーター養成講座開催
- 地域の人たちとの交流
- 人事面ですぐれた人間性の高い人探しをしている
- 当事者が自分の悩みや苦しみを分かち合える会でありたい。
- ピアサポート専門員に興味がある。
- 電話相談を受け付ける活動が出来ればいいな、という声があがっています。
- 施設グループホームを設置運営をする。
- 現在就労継続B型事業所での活動であるが地域社会の中で自立した生活を行うには10万円/月以上の収入が必要と考えA型事業所設立をも視野に一般企業と協力して事業化に取り組むことを考えている
- 啓発講座（ボランティア養成講座）の開催（市・社協・市民活動センターとの共催、後援等による）
- 地域移行支援（個別給付）やアウトリーチ推進事業など、専門職と共働で取り組んでいくこと。
- ピア・サポート的活動（電話、インターネットなども活用して）

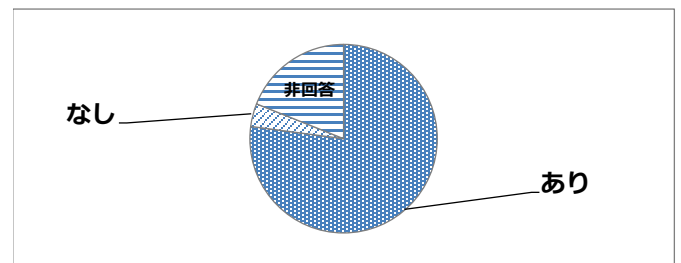
会の運営で工夫していること、中止していることについては、下記のような回答があった。

- 語り合いやすい様な雰囲気になっている
- 行事がある前に、参加を呼びかける案内文を作製し、なるべく多くの方に集まってようになっている。
- 常にコミュニケーションを重視し、支援員同志、メンバーとの会話を多くとるようにしている。
- 批判。否定しない。会員全員で話し合い行動する。
- 一人一人の発言や意識等を大切にしていく。
- 一緒に考えるようにする。
- 代表者及びその家族に負担とならないように地域家族会が運営している地域活動支援センターを連絡場所として設定している。
- お互いがお互いの事を言い合っ仲間とのコミュニケーションをよくとるようにしている。だがどうしても今のところ役割が、決まった人に集中しがちになる。これからも人材育成をみんなで心がけたい。
- 日曜日活動。仲間と休日を過ごしたい。
- できるだけ全員が何かしらの役割をもってする。
- 無理をしない
- 経営サイドと利用者との苦情や見解の相違などが無い注視しています。
- 会員にとって利益があり、おちつけるところにしていきたいと考えています
- 例会は安い公共施設(ホテル)に泊まってピアカンや飲み会を中心に行っているが、色々などところに行けることと予算(低)を考慮して行っている。
- 柔軟に対応できるような体制づくり・常に外へもアンテナをはる
- 役割が一人に集中しないようにしている。
- 多数決はとらない 全員納得をめざす。少なくとも代表一任、反対意見を尊重する。
- はじめて参加する人にもわかりやすいように資料を使う等している
- 役割を分担する。参加の声かけ(集まりが悪い時に連絡を取り合う)
- 能力の有無にかかわらず、役割を持ちみんなで応援していくこと 参加した人たちが必ず何か話す。
- 約束事を作り それにそって定例会を行なっている。役割分担をする

- 参加しやすいような日程調整(就労しているメンバーがいる為)
- プライバシー保護のため、ハンドルネームや匿名でも会に参加できるようにしています。

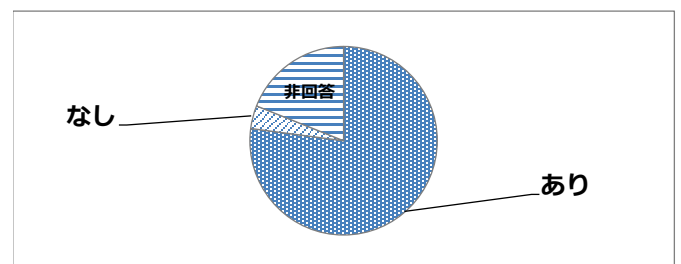
他の当事者団体との交流はありますか

	n	%
あり	175	77.1%
なし	9	4.0%
非回答	43	18.9%
合計	227	100.0%



行政機関や医療機関、地域事業所など、恒常的に支援をしてもらえる組織・団体などはありますか。

	n	%
あり	141	62.1%
なし	47	20.7%
非回答	39	17.2%
合計	227	100.0%

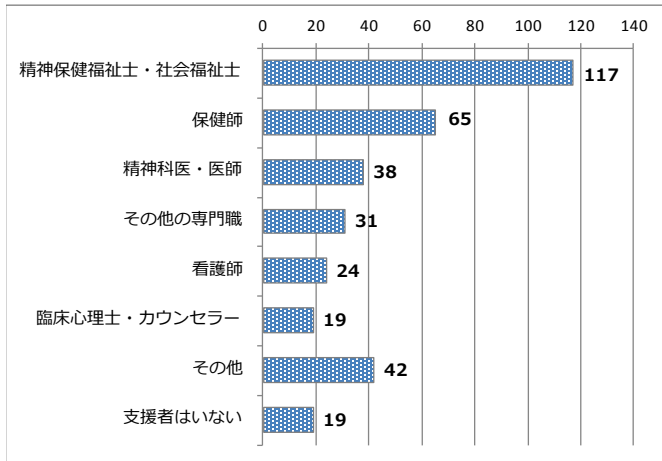


支援の具体的な内容については、下記のような回答があった。

- 会場、情報の提供
- 職員の派遣
- 財政的支援
- 会場の提供。
- 営面の相談。
- 事務的なこと、経理
- 公衆トイレの作業委託、その他各種作業の委託

支援者の内訳を教えてください。

	n	%
精神保健福祉士・社会福祉士	117	51.5%
保健師	65	28.6%
精神科医・医師	38	16.7%
その他の専門職	31	13.7%
看護師	24	10.6%
臨床心理士・カウンセラー	19	8.4%
その他	42	18.5%
支援者はいない	19	8.4%
非回答	41	18.1%
合計	396	174.4%

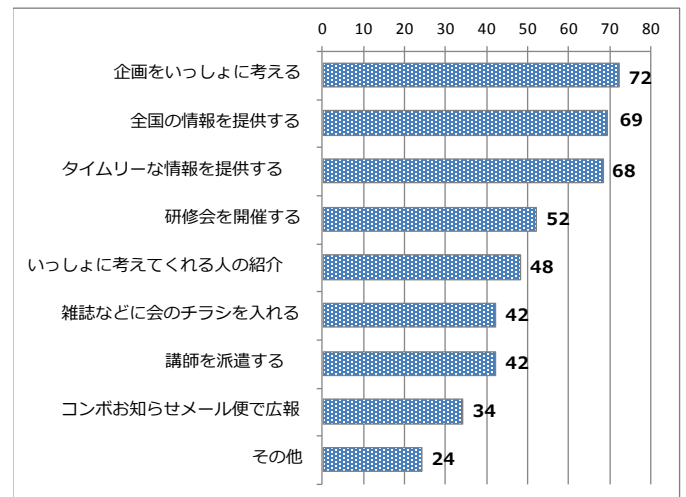


今後の課題や困りごとについては、下記のような回答があげられた。

- 運営資金がもっと欲しい
- 会員の集まりが悪い。新しい会員が入らない。
- 会員の高齢化
- 役割分担 役員の固定化
- 資金人手が不足している
- 会員同士の間でのトラブルが多い。
- 行事も毎年同じで、マンネリ化してきた。
- リーダーが育たない。
- 後継者がいない（現在の会員は高齢のため）
- 会員（女性）が増えない。
- 従業員を増員して事業を拡大し、当事者の就労移行や生活安定へと導くための資金不足をどの様に補うかアイデア・方法やそれに伴う情報が不足

特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構（コンボ）では、ピアサポートグループの運営が円滑におこなえるように、私達が協力できることを考えています。以下に挙げる項目の中で、希望する項目に○印をつけて下さい。

	n	%
会員が元気になる企画をいっしょに考える	72	31.7%
全国のピアサポートグループの情報を提供する	69	30.4%
タイムリーな精神保健福祉情報を提供する	68	30.0%
研修会を開催する	52	22.9%
ピアサポートグループの運営に関して、いっしょに考えたい	48	21.1%
コンボが発行する雑誌などに会のチラシを入れる	42	18.5%
ピアサポートグループの運営に関して講師を派遣する	42	18.5%
コンボお知らせメール便で会の情報を流す	34	15.0%
その他	24	10.6%
非回答	59	26.0%
合計	510	224.7%

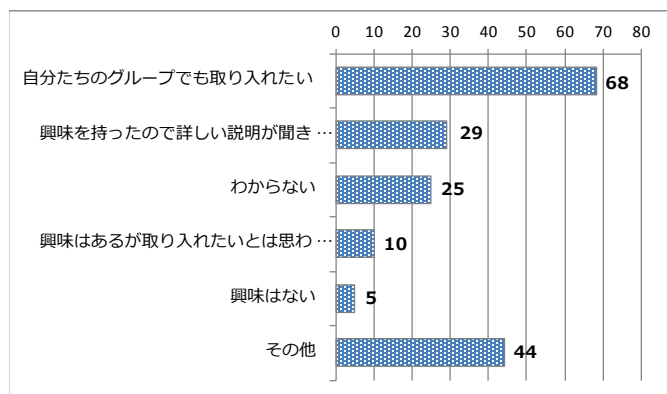


現在コンボではピアサポートグループ立ち上げのためのモデル事業（元気＋サークルズ）を全国でおこなっています。以下はその説明の文章の一部です。この文章を読んで次の質問にお答えください。

「元気＋サークルズでは、言いつばなし聞きつばなしの方針で、自分のことを吐露しすっきりすることを大切にしています。このグループでは、①自分の思いを語り仲間と共有すること、②一人ひとりはもちろんグループ全体も元気になること、③「こころの元気＋」を輪読することによって生活を振り返り、生活に生かすことを目的としています。私たちはこれらの経験を生かしたピアサポートグループの立ち上げや運営に協力したいと考えています。」

上記の文章を読んだ感想を次の中から一つ選んでお答えください。

	n	%
自分たちのグループでも取り入れたい	68	30.0%
興味を持ったので詳しい説明が聞きたい	29	12.8%
わからない	25	11.0%
興味はあるが取り入れたいとは思わない	10	4.4%
興味はない	5	2.2%
その他	44	19.4%
非回答	46	20.3%
合計	227	100.0%



特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構（コンボ）  
〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F  
Tel 047-320-3870 fax 047-320-3871  
<http://comhbo.net>

本調査は、独立行政法人福祉医療機構（WAM）より助成を受けて「精神障がい者のピアサポートグループ支援事業」の一環としておこないます。この事業は精神障がいを持つ人のピアサポートグループを支援することを目的として、ピアサポートグループの立ち上げ方や参加者の集め方、会の運営の方法などを伝えるためのピアグループフォーラムの開催やモデル事業の実施、インターネットでの交流や情報提供を行うためのWEBサイトの立ち上げなどを実施する事業です。